

令和4年第1回奥出雲町総合教育会議 会議録

日 時 令和4年6月15日(水)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後4時11分
場 所 奥出雲町役場仁多庁舎 3階 301会議室
出席委員 勝田康則町長 松田武彦教育長 福田充雄教育長職務代理
荒金勇吉委員 谷尻圭子委員 高橋美奈委員
事務局 江角啓総務課長 恩田慎司総務課長補佐 石原企画員
高尾昭浩学校再編推進課長 長谷川史郎学校再編推進課長補佐
安部宏明学校再編推進課長補佐 石原重夫教育魅力課長 岸本義弘
教育魅力課長補佐

江角総務課長

※開会宣言

勝田町長

(挨拶)

<協議・調整事項>

高尾学校再編
推進課長

(1)仁多地域統合小学校建設地について

※経緯説明(資料により説明)

資料：仁多地域統合小学校建設地に係る経緯

資料：学校再編・再開発特別委員会の中間報告に対する回答

1、仁多地域統合小学校の開校の期日及び場所について

【令和7年4月統合を目指して取り組むことを第一として進めるべきという事
について(1)、(2)の場合を説明】

(1) 現三成小学校敷地で令和7年4月開校を目指した場合。

(2) 仁多中学校隣接地で令和7年4月開校を目指した場合。

【現仁多中学校隣接地が最も妥当であると判断したという事について説明】

【各校区別協議会から出ている早期統合という意見に対しての町の認識】

【特別委員会からの中間報告の理由について1) から4) を説明】

1) 仁多中学校隣接が最も妥当だという理由について。

2) 保護者が課題として上げているバス通学について。

3) 三成公園施設の活用により教育機能の向上と条件改善が図れることについて。

4) 今後、検討課題となりうる、小中一貫教育、義務教育学校など受容できる施設となる事について。

2、その他

資料：仁多地域統合小学校 想定建設スケジュール

令和7年4月開校する場合（現三成小学校敷地、仁多中隣接地）。

令和8年4月開校する場合（現三成小学校敷地、仁多中隣接地）。

資料：三成小学校の航空写真

現三成小学校敷地で令和7年度開校を目指す場合。

資料：仁多中学校の平面図（イエローゾーン、レッドゾーン表示）

仁多中学校隣接地で建設した場合の想定。

資料1：令和4年3月町議会学校再編・再開発特別委員会報告を受けての比較資料

5月24日建設地ミーティングで配布した、現三成小学校敷地と仁多中学校隣接地の比較検討基礎資料。

資料：校区からの意見要望に対する町の対応方針

【安全な登下校、交通手段（校区からの要望事項）】

【体育館（校区からの要望）】

【プール（校区からの要望）】

【校庭（各校区からの要望）】

【早期の再編（各校区からの要望）】

【未耐震校舎の仮設対応（各校区の要望）】

これまでの経緯と考え方、また、特別委員会の回答の内容。説明は以上。

勝田町長

この説明に対して質問・意見等があればお願いします。

福田職務代理

資料には、現町民体育館を改築する時期が来たらという記載がしてありますが、これはいつ頃を想定していますか。

高尾課長

何年後という具体的な時期は想定していません。しかし、現町民体育館は、耐震レベル1という最も耐震度の無い建物に該当しています。そのため、この町民体育館についても早い段階での対応が必要だという認識は教育委員会・議会共にあります。しかし、大規模な学校再編という高額な資金需要もあり、そのような事を見ながらなるべく早い時期での対応が求められていると考えています。

福田職務代理

現三成小学校敷地に仁多地域統合小学校を建築することになった場合、仁多中学校のレッドゾーン対策工事をなるべく早く実施すると記載してあります。その工事は、仁多中学校隣接に仁多統合小学校を建築した場合と同等の工事内容ですか。

高尾課長

仁多中学校隣接地に仁多統合小学校を建築する場合、裏山を大規模に開発しますが、現三成小学校敷地に仁多統合小学校を建築した場合、仁多中学校のレッドゾーン対策工事を最大限することになります。その場合、見込額として約2億円

	<p>を想定しています。</p>
<p>福田職務代理</p>	<p>この資料の赤い部分を取り除くという事ですか。</p>
<p>高尾課長</p>	<p>赤い部分を取り除くわけではありません。</p> <p>仁多土木事業所に確認をしましたが、最終的には専門業者の設計になるため現段階ではどのような形になるか分かりません。しかし、例えば現在国道314号で行われている擁壁工事をこのレッドゾーンの半分程度行えばそこから先のレッドゾーンはイエローゾーンになると聞いています。そのため、レッドゾーンにかかっている武道場・ランチルームのあたりの半分程度に擁壁工事を行うとレッドゾーンが下がるため安全になります。しかし、イエローゾーンは無くなりません。</p>
<p>谷尻委員</p>	<p>現三成小学校敷地に仁多地域統合小学校を建築する場合、現在の屋内運動場をそのまま利用すると記載してあります。また、将来的に町民体育館兼用の施設としてその場所に建て替える可能性も示唆してあります。現三成小学校の屋内運動場は場所が悪く、湿気や寒さなどの問題があります。また、町民体育館は、町民の皆さんが日々様々な活動を行っています。町民体育館兼用の施設を建築した場合、小学校の体育授業等の折り合いで町民の皆さんが施設を利用しにくいのではないですか。そのような対策はしていますか。</p>
<p>高尾課長</p>	<p>現三成小学校の屋内運動場を町民体育館兼用の施設に建て替える前提の話ではありません。このような想定もされているという話です。</p> <p>奥出雲町でも年々少子高齢化、又は人口減少が続いています。将来的に今の町民体育館と同等の大きさの体育館を新設する必要性の有無など当然、議会と協議する必要があります。先ほどの小学校の体育授業との折り合いで町民体育館兼用の施設が利用しにくいのではないかという話についても検討材料の1つになります。</p>
<p>谷尻委員</p>	<p>仁多中学校隣接地に仁多統合小学校を建築する場合、現在の仁多中学校のバス乗降場を小学生も利用することになっていますが、小学生はどの様に小学校校舎に行くのですか。歩いて中学校校舎を抜けて小学校校舎に向かうと認識でいいでしょうか。その場合、動線的に長くないですか。それともバスが小学校校舎まで上がるのでしょうか。</p>
<p>高尾課長</p>	<p>バスは上がりません。バス乗降場所から小学校校舎への動線として2つの方法を想定しています。1つは、夏期であればバス乗降場から歩いて体育館の横を通る方法、もう1つは渡り廊下の中を歩いていく方法を想定しています。また、堅田方面、給食センターの方角から歩いて通学する児童がいるようでしたら、グラウンドを歩いて通学することも可能です。</p>

谷尻委員

小学校低学年も利用しますが、冬場等を含めて安全でしょうか。

高尾課長

防災工事等は行う予定にしていますが、雪の状況に依存すると思います。

勝田町長

他にありませんか。冒頭で説明をしましたが、現三成小学校敷地を建設候補地として話を進めていましたが、令和3年10月に議会で学校再編・再開発特別委員会が設置されました。その特別委員会より3月末の中間報告として現三成小学校敷地という意見もあったが、仁多中学校隣接地が最も妥当だと判断したとの報告がありました。5月24日の仁多地域統合小学校建設地ミーティングの意見や6月13日に開催された学校再編・再開発特別委員会での各議員の意見など、意見が分かれているように私は受け止めました。現三成小学校敷地、並びに仁多中学校隣接地、それぞれに一長一短があり、このように意見が分かれたと思います。

また、保護者の方々は早期の小学校再編、そして、布勢小学校、並びに三成小学校の耐震代替校舎を望んでいます。このことからできるだけ早期の建設地の決定が必要であると思っています。これには決議権を持つ議会の同意が必要なため、議会の意見を聞き、また、議会と一緒に協議をしながら子ども達にとってどちらが最適な建設地なのかを優先的に、そして総合的に判断したいと考えています。

本日の総合教育会議では、委員から忌憚のない意見を聞かせてもらった後、議会ともう一度話し合いをしたいと考えています。福田委員から順番に忌憚のない意見をお願いします。

福田職務代理

5月24日の仁多地域統合小学校建設ミーティングでは、早期の統合再編、子ども達のため、という2つの大きな視点があったと思っています。

1点目の早期の統合については、先ほどの説明の通り、どのような形でも構わないから令和7年4月に統合して欲しいというわけではなく、令和8年4月より統合再編が遅くならないで欲しいという事が多くの方の思いだと思っています。

私は阿井地区の会議に参加していますが、そこでも早い方がいい、中には令和7年4月統合を希望する方もいましたが、全体としては令和8年4月以降の統合にならないで欲しいという意見でした。これについては、ぜひしっかりと計画を立ててゆとりを持った形での統合小学校の開校をお願いします。

2点目の子ども達のためという事ですが、何が子ども達のためなのかという事を改めて考える必要があると思いました。大人が目線から見た時の子ども達のためという部分と、子どもの目線から見た子ども達のためという部分には若干のずれがあると思っています。

私は、子ども達のために施設としてゆとりのある場所を実現してあげたいと思っています。それは校舎の建築も含めてですが、基本的には仁多地域の子ども達の夢のある新しい学校を作るという事が今回の一番大切な部分だと思っています。

す。これから先の学校のあり方としてコミュニティスクールの実現や学校の開放があります。例えば、町立図書館を兼ねた形の施設を学校に作り、それを地域住民に開放するような事も考えて欲しいという思いを私は持っています。お金の話が出てくると非常に難しいですが、私の思いとして聞いて欲しいと思います。

地域の人や指導者が集まる事ができる地域共同本部の施設がこれから先必要になってくるかもしれません。そうした場合、ある程度の広さが無いとそのような施設を建築する事ができないだろうと思っています。そのため、仁多中学校隣接地の切り方を、レッドゾーンをなくすことを考えながら工夫し、そのような土地を確保する方がいいのではないかと考えています。技術教室棟をずらすとしても統合小学校を建築する面積をすればいいかなものかと思っています。そのため、逆にそこを小さな校庭にして100メートル400メートル程度の陸上競技を取って必要な時にそこに行けばいいという思いがあります。場所的に考えた時、子ども達が様々な活動ができる、あるいは地域の方々が活動できる広い場所として仁多中学校隣接地が一番いいと個人的には思っています。

令和3年5月18日教育総合会議にて、現三成小学校敷地を候補地とするという最終的な結論を出しました。その場で私は、広い敷地を確保して欲しい、だから用地買収は当然のことだという発言をしたと思います。とにかく子ども達がある程度ゆとりを持って活動できる、あるいは地域の方々が入って来られるような敷地を少なくとも確保して欲しい、そのような建物にして欲しいという思いがあります。

結論として、私は仁多中学校隣接地が良いと思っています。もし、現三成小学校敷地での建築になるのなら、土地の無い三成でこれだけの土地を子ども達のためによく確保できたと言われるようなものにして欲しいとお願いさせていただきます。

谷尻委員

私は、保育所で務めていた頃から教育委員という立場になるまでずっと少子化問題を考えていました。統合再編をやっと実現できる段階になって思う事は、やはり子ども達のためには何が一番いいかという事です。現在、新しい教育指導要領も動いています。その中でもやはり、人・物・事というものが、子ども達が学ぶ空気の中に、目の前に絶えずある、その現象がとても大切だと思います。人の声がする、自動車の音がする、たまに救急車の音も聞こえるかもしれない。それらがやはり、子ども達の豊かな教育の一部にはおそらく必要だと思います。

子ども達のためという事を考えた時、私は令和8年4月に現三成小学校敷地に開校した方がいいと思います。建設地ミーティングや校区别協議会においても保護者の思いとして三成の町の中に学校を建てて欲しいというニュアンスがかなり多かったと思います。それは、自分の子どもを育ててもらい、教育してもらいには、やはり現三成小学校敷地が良いという思いが強いためだと思っています。少なくなった大事な子ども達のために、という事を考え私も現三成小学校敷地に建築して欲しいと思います。

福田職務代理もおっしゃっていましたが、図書館の問題や地域の方々も参加する新しい教育の動きももちろん必要な事だと思います。現在、放課後児童クラブとして利用させていただいている三成幼稚園もまだまだ使用できます。また、きちんと改修をすれば新しい施設を建てることもできるため、福田職務代理がおっしゃっていた事と同様の動きもできると思います。また、図書室ではなく図書館はどこかに必要だと思っています。それが小学校の近くにあればいい事はありません。

荒金委員

どちらの候補地がよいか、結論から言うと、私は現三成小学校敷地が良いと思います。なぜなら、子どもの教育にとってどのような環境が必要なのかという視点から見た時、現三成小学校敷地が良いと判断したからです。これは、子ども達を大人が見守り、また、子ども達も大人を見ながら、大人たちが仕事している空気を感じながら学んでいく、これはふるさと教育にも繋がっていくものだと思います。この町がどのように動いているのかという事を肌で感じていく体験が大切な学習の要素だと思います。

小学生と中学生、あるいは高校生、大学生と子ども達の発達段階に応じて学ぶものの質が違ってくる気がしています。中学生以上の子ども達はある程度静かな、刺激のない環境で学んだ方がいいと思っています。しかし、小学生は大人たちが見守り、また、逆に子ども達に大人が見られながら育てていく事が一番いいと思います。

私には確かに図書館を建設して欲しいという思いがあります。図書館の話をするとう焦点がぼけてしましますが、三成の中心を将来的にどのようにしていくのかという計画に関わってくると思います。その中に子ども達の小学校という施設を核にして、図書館や他の様々な施設を配置していく、これは町の将来にとって非常に重要な事だと思います。大人の視線から、という話になるかもしれませんが、現三成小学校敷地に小学校があるという事は、大人たちにとっても大切な気がします。

仁多中学校隣接地に建築する場合、レッドゾーン解消工事を行う事になっています。この工事は大切な事ですが、長期に渡って工事が行われることで中学生にどのような影響があるのか、少し疑問があります。そのような疑問も含めてできれば三成の町の真ん中に小学校があって欲しいと感じています。

高橋委員

私も子ども達にとって一番いい環境はどういう物かと考えていました。どんな町、どんな奥出雲町になっていくのかという事は、広い視点で考えるとこれは子ども達のためであり、今の子ども達の将来のためでもあります。未来の子ども達のために私たちが考える必要があると思います。どこに小学校を建築するのか考えるならば、本来、教育委員会という教育に偏った組織の中で答えを出せる問題ではないように私は思い始めました。どちらか1つを選ぶ必要があっても私は選ばせません。現在、町の真ん中に小学校がありますが、町から元気が少しずつなく

松田教育長

なっているという現実を踏まえると、町の未来の描けるような、決定以降、町民の方々が前を向けるような積極的な理由・ビジョンが必要な気がします。私はどちらか1つを選ぶことはできませんが、どちらになっても町民の方々全員が前を向けるような明確なものがあるといいと思います。

就任してからずっとこの再編統合に関わっています。議員の方々から様々な意見を頂き、そのたびなるほど、と思いながら再編統合を進めている状況です。学校の再編統合には様々な課題があります。その1つとして、布勢小学校と三成小学校校舎の未耐震があります。今更言ったところで仕方がない事は重々承知していますが、私の立場から言うと、子ども達の安全確保は非常に重要な事であり、本来はもっと早い段階で動ければよかったと思っています。

昨年度の総合教育会議で建設地として現三成小学校が妥当であるという事を提案・決定しました。その後、各校区を回り、その提案・決定に基づいて令和3年10月までに各校区から意向を頂けるようお願いをしました。その結果、仁多地域の校区6校区中、4校区が現三成小学校敷地、2校区については、絶対反対ではないが、判断できかねる・決定しかねるという意向を頂きました。この意向から建設場所の問題より他の課題が多かったと感じています。この同意のとりまとめにあたり、校区によって若干の違いはありますが、数十回の校區別協議会を開催してもらった。これは、建設地だけでなく、再編統合そのものについても協議を重ねてもらい、校区の中にはアンケートを行う等してもらいながら進めていただきました。そのような協議会の結果、4校区から現三成小学校敷地で良いという意向をいただいたため、この事は十分に反映しないといけなだろうと思っています。

一方、議会から教育の視点だけではなく、町づくりの視点からも考えることも重要であるという意見をいただいています。今までも当然考えていましたが、最終決定の段階で当然考えていかなければいけないことだと理解しています。

2つの案のうちどちらがいいかと考えた時、昨年の総合教育会議で福田職務代理がおっしゃった、学校は子ども達に見えるところが良いという話をされた事を思い出します。仁多中学校隣接地の場合、子ども達は仁多中学校校舎に隠れて見えない小学校校舎に向けてバス乗降場から200メートルほど歩いて通学することになります。また、福田職務代理が先ほどもう少し山を崩せるという話をされていましたが、この図面を見た限り、校庭の真ん中に立った場合、一方は中学校校舎、もう一方は小学校校舎、もう片方は山の谷底のような形をした校庭になります。このような形の校庭で一番困る事は、水はけが悪くてなかなか乾燥しないことです。子ども達にとってそのような校庭はどうなのかという気がかりがあります。

最近、開かれた教育環境と言われており、私も様々な方に入っただけの学校が一番いいという思いを持っています。仁多中学校隣接の場合、駐車場が下にしかない点が困ると思います。教育のために年配の方を招く際、駐車場から小学

校校舎までかなり距離があります。そのため、仁多中学校隣接地に建築する場合でも駐車スペースは小学校校舎と同じ高さのところに必要だと思っています。現三成小学校敷地の場合、土日に関して言えば庁舎や職員駐車場等、小学校校舎と同じ高さに駐車場があるため、年配の方でも容易に学校に来ていただく事は可能だと思っています。

先ほどから課題になっていますが、令和7年4月開校より令和8年4月開校の広い敷地が良いと思っています。この図面だけから言うと、私の立場としては、現三成小学校敷地が良いと思っています。

ただ、最終的には議会の同意が必要です。これからの町をどのように作っていくかという大きなビジョンの中で判断してもらう事が一番大切だと思います。この総合教育会議の場は、多数決でどちらの建設地が良いか決める場所ではないと私は認識しています。そのあたりは、議会と再び協議をし、町としての最終決定・判断を出してもらう事が一番いいのではないかと個人的な思いですが、思っています。

勝田町長

ありがとうございました。教育長を始め、5名の教育委員から様々な意見をいただきました。どのような町を作っていくか、あるいは、ゆとりの場の確保が重要など、様々な意見がありました。私としては、議会ともう一度協議を行い、最終的な判断をしたいと考えています。皆さんから意見をいただきましたが、建設地についての判断をこの場では行いません。もう一度議会と協議を行い、出来るだけ早急に決定したいと思っています。どのようになるか分かりませんが、この判断については、私に一任していただけないでしょうか。

(全員から同意あり)

勝田町長

ありがとうございます。判断をゆだねていただきました。今日の総合教育会議の意見を基に議会ともう一度協議を行い、最終的な判断をしたいと思います。

江角総務課長

※閉会宣言

会 議 録 署 名

町長

勝田 康則

教育長

松田 武彦